

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 6 日

評価対象事業		評価者	消防総務課長	高木 守
消防-03	重点事業	消防団運営事業	■ 自治事務 □ 法定受託事務	主管課 消防総務課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針	消防機能の整備・充実

1 事業の目的

対象	消防団員等
意図	消防団の装備、資機材及び消防団の運営活動の充実強化を図り、消防使命の達成に資する。
効果	消防団及び消防団員の充実強化を図り、消防団員が安心できる消防団活動を行うことができる。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 消防団員への報酬の支払い、分団器具置場及び分団車両の維持修繕、消防団員の被服の整備を行った。 消防団員の出勤費用弁償等、消防団の活動に係る経費を支出した。 消防団事業計画に基づく、団員の教育訓練研修、各市との情報交換、消防機材及び器具置場の維持管理など、本団・分団事業に要する経費を交付金として助成した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	97,761	73,566	当初予算(千円)	62,029			
	国県支出金	15,134	7,996	国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他	10,909	6,347	その他	9,050			
	一般財源	71,718	59,223	一般財源	52,979			
事業経費運営	人員配置数	1.0	1	人員配置数	1.0			
	人件費(千円)	7,823	7,850	人件費(千円)	8,091			
	総事業費(千円)	105,584	81,416	総事業費(千円)	70,120			
	市民1人当りの経費(円)	597	461	市民1人当りの経費(円)	398			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
	事業内容・予算規模の方向性設定の理由				事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行され、全国的に消防団への期待が高まっている。装備の充実、機能強化に重点を置きながら、研修・訓練を重ねることにより、市民に消防団への興味を持ってもらい、入団促進に繋がるよう事業を進める。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	消防団員は、平時は本業を持つかわら、災害発生時には現場に駆け付け災害活動、避難誘導及び消防職員の活動のサポートを行っている。 また、管轄区域の定期的な巡回等により、災害防除の一助にもなっており、地域において重要な存在となっている。 今後、懸念される大規模災害の発生に備え、消防団の更なる強化、充実を行うことこそ、市民への安全・安心の提供となる。
-------------------	--

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の施行に伴い、消防団員の安全確保のため、装備の充実、機能強化を行ったところだが、今後も継続して充実強化を図る。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	消防団員の安全確保のため、装備の充実、機能強化の一環として、全団員への新基準の活動服貸与、半数の団員へ防火衣、防火ズボンの貸与を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	防火衣、防火ズボンについては、半数の団員への貸与を終わっていないため、全団員への貸与を進める。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	消防団員の確保、育成強化及び円滑な消防団活動等の実施率					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
常備消防と連携し、市民サービスの向上、災害現場での活動を担うため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
	実績値	97.0	97.0	97.0	97.0					
	達成率	97.0%	97.0%	97.0%	97.0%					

指標の内容	消防団の装備充実					単位	%	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
消防団員が安全・迅速な活動を行うことで市民の安全を守るため。	目標値	-	-	防火衣・活動服	防火衣	救命胴衣	活動服			
	実績値	-	-	防火衣・活動服	防火衣					
	達成率	-	-	100.0%	100.0%					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	消防団員の安全確保のため、平成28年度から活動服、防火衣、防火ズボンの整備を進め、平成29年度をもって、すべての団員への貸与を予定している。									
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--